

令和6年度 評価計画及び自己評価

(計画)・中間・最終)

吉浦中学校区 校番 15 学校名 吉浦中学校

a 学校教育目標	かしこく やさしく たくましく (自利 利他 貢献)	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉 (学校の使命) 〈ビジョン〉 (将来の学校像)	夢の実現に向けた志を抱き自己を成長させていくとともに、自分を大切にし他を大切に、地域や社会に貢献できる生徒を育成する。 伝統を継承し、人々とふれあう中で地域と一体感をもち、郷土愛を育むことができる学校							
c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	確かな学力……基礎的・基本的な学力については定着が見られているが、30%未満の生徒の固定化が進んでいる。「チャレンジ」(選択肢と自己決定)を軸に授業改善を図り、個別指導と家庭学習の充実を図る。 安心・安全……自己肯定感・自己指導能力については高い数値で維持されている。地域との協働の中で郷土に教育環境 貢献できる生徒を育てるとともに、防災への意識を高める。 働き方改革……生徒と向き合う中で、教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境を整える。										
育成すべき資質・能力		知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体性									
評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・③ 年目)											
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	(9)月			2月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
★★★ 確かな学力	① 生徒が主体的に学習する授業づくりについて工夫改善を進め、学力を向上させる。	学力の向上を図る。	指導方法・教材を工夫するとともに、個に応じた個別指導を継続的に実施していく。	全国平均との比較 国語・数学・英語	全国平均以上 85%						
		課題解決に向けて自ら調べ、考えようとする意欲を向上させる。	教科等の本質に迫る「考える授業づくり」をベースに、発問等の工夫、個に応じた選択肢(チャレンジ)の設定により授業改善を推進する。	学習に関することや、課題解決に向けて資料収集や取材、意見交流をする。 新しい問題に出会ったときに解いてみたいと思う。	85%						
				各教科でチャレンジを設定した授業を展開する。	各学期1回						
★★ 安心・安全な教育環境	② 社会性の向上と学習意欲の向上 防災学習の充実	自尊感情、自己肯定感を向上させ、学校生活への適応を図る。	教育相談活動を充実させ、学校生活の各場面において生徒の言動に対する肯定的評価を実施する。	QUでの学校生活不満足群生徒の人数	1割減						
		協働する意欲を向上させ、地域に貢献する力を育む。	道徳・特別活動・総合的な学習の時間の充実を図り、部活動や生徒会活動の活性化を図る。	地域行事やボランティア等の活動に参加する生徒の割合	85%						
		防災の意識を高める。地域の課題に気づかせ、	関係機関や地域との協働活動を通じて防災等の課題に気づかせ、対応能力を高める。	災害時の避難の仕方・非常持ち出し袋の準備をしている家庭・生徒の割合	60%						
★ 働き方改革	③ 教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境を整える。	生徒と向き合う時間を確保する。	学校行事の実施内容・方法等の改善を図り、生徒とともに考え、活動する場を設定していく。	児童生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合	88% 85%						
				自分をよく分かってくれる先生がいる。							
		ワークライフバランスを意識した職場環境づくりを行う。	目標を持ち、予定・期限の見える化で進捗管理を行って業務を充実させる。	日々の業務の中で充実感を得られていると感じる教職員の割合	90%						
				学校の施設時間を19時とする。19時以降になる回数(限定四項目を除く)	月3回						

【k: 評価】

A: 100 ≦ (目標達成) B: 80 ≦ (ほぼ達成) < 100
C: 60 ≦ (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60